

港小学校区の子供たちの豊かな心の育成を目指して

— 幼小連携における、よりよい仲間づくりを通して —

高浜市立港小学校

<連携校：高浜南部幼稚園>

1 実践のねらい

- (1) 同じ地域に住む同年齢や異年齢の子供たちが一緒になって地域を元気にする取組について、幼小関係者を中心として話し合う場「幼小意見交流会」を通して、地域を元気にする取組を計画・推進するとともに、校区内の幼稚園や地域と積極的に連携をとり、協働して児童や園児の健やかな成長を促し、地域に根ざした開かれた学校づくりを進めていく。
- (2) 小学校入学前後の不安や心配などから起こる園児の「小1プロブレム」を防ぐため、入学前から園児と交流する機会を積極的に設定し、地域の方々の協力も仰ぎながら、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を図る。
- (3) 児童と園児が地域の方と一緒に活動する機会を通して、他人を思いやり、地域の一員として地域を愛し、地域のために働き掛けることができる「豊かな心」の育成を図る。

2 実践内容

「連携・協働」「創意工夫」「地域人材の活用」をキーワードとして、児童や園児が地域を愛し、地域のために活動できるように、連携園と共に地域を取り込んだり、地域に入り込んだりするような創意工夫のある取組を実践した。

(1) 児童・地域住民による環境美化・環境保全活動

地域の環境美化・環境保全活動のために、学校・公共施設の美化、学校・学区公園の花壇の世話、資源回収、市民一斉清掃などを児童が地域の方々と一緒に行った。

ア 校舎のペンキ塗り

7月2日（日）に、20名ほどの本校卒業生（昭和54年）の皆さんと本校児童・職員で校舎内のペンキ塗りを行った。本校3階の教室七つ分の廊下と階段2階分の壁、消えかかっていたセンターラインを3時間ほどできれいに塗り終えることができた。卒業生の皆さんは、38年前に自分の使った教室や3階の窓から見える景色を懐かしそうに眺め、児童に当時の様子や学校での思い出を話しながら作業を行っていた。児童も、当時のことの質問をしたり、現在の様子との違いに驚いたりしながら丁寧にペンキを塗っていた。



【卒業生と一緒にペンキ塗り】

イ 花壇の植え替え

11月29日（金）に、町内会の方々と本校児童で正門前と校内のメイン花壇に春の花の苗植えを行った。5種類の花の苗を230株植えた。児童たちは、町内会の方々に穴の深さや苗の持ち方を教えてもらい、一株一株を丁寧に植えていた。最後に水のやり方も教えてもらい、翌日から輪番で水やりを行っていた。校内の他の花壇や学区内の広場の花壇にも花の苗を植える予定である。



【地域の方と花の苗植え】

(2) 児童・園児の交流活動

園児が小学校生活に適応できたり、児童が上級生としての自覚を高めたりするなど、よりよい接続期教育の在り方を考えるために、児童と園児が交流する異校種間連携事業を行った。

ア 夏の交流会

7月5日（水）に、連携校である高浜南部幼稚園年長組との交流会を行った。前半は、1年生の各クラスで用意した4種類のシャボン玉で遊んだ。道具は既製品だけでなく、1年生児童の用意した団扇の骨や牛乳パック、針金のハンガーなどでシャボン玉を作り、園児たちは大喜びで運動場を走り回っていた。1年生は自分の作った道具をうれしそうに園児に貸していた。



【園児と一緒にシャボン玉】

後半は、全員が水着に着替え、本校の遊歩プールに入った。プールでは、1年生と園児が手をつないで歩いたり、プールに沈んでいる宝を探したりして交流を深めることができた。

イ 合同避難訓練

9月1日（金）に、津波に対する避難訓練を実施した。本校は海拔2.5mであるため、津波警報発表時には、高台にある隣の高浜小学校に避難する。隣接する高浜南部幼稚園の避難先も同じ高浜小学校であり、迅速で安全な避難ができるよう訓練を5年ほど前から合同で実施している。



【園児の手を引く6年生】

避難訓練当日は、6年生児童が本校まで避難してきた園児の手を引き、高浜小学校まで避難した。園児だけであれば30分以上かかる距離を、6年生児童が声をかけながら歩いたことで20分足らずで到着できた。泣いたり立ち止まったりする園児もなく、スムーズに避難することができた。

ウ 幼小意見交流会の開催

12月13日（水）には、「園児を招いての秋祭り」後の長い休み時間に、1年生代表児童と南部幼稚園の代表園児との意見交流会を行った。2月に予定している一日入学で本校に入学する園児の体験内容を決める意見交流会である。児童の質問に対し園児から、遊びだけではなく「勉強」「音楽」「体育」など学習に対する希望も出され、時間内に決めることができなかった。体験内容は、教員と保育士が児童・園児の意見を伝え合い、決定する予定である。



【楽しみな一日入学】

3 実践の成果や課題

- ・ 校舎のペンキ塗りや花壇の植え替えなどを地域の方々で行う活動を通して、地域の方々に感謝し、自分たちも地域のために積極的に関わっていこうとする自覚を高めることができた。
- ・ 夏の交流会や合同避難訓練などの幼小の交流を通して、園児は小学校の活動や雰囲気を経験することができた。児童は園児と接することで、園児の気持ちを考え、他人を思いやる気持ちを育むことができた。
- ・ 日々の授業や様々な行事を行う中で、園児と児童と一緒に活動する時間や場所を設定することがなかなか難しかった。特に、幼小意見交流会は全員ではなく代表者が集まるので、授業後となると日時の設定が難しかった。